



杉並区立
浜田山小学校

浜田山小学校
公式サイト
二次元コード

学校だより第570号
令和4年度2月号

はまだやま



校長 緒方 康裕
副校長 越山 宗治

「花開く春を迎えるために」

副校長 越山 宗治

間もなく節分、そして立春を迎え、暦の上では春となります。しかし、実際はまだまだ寒い日が続く季節です。新型コロナウイルス感染症だけでなく、今年はインフルエンザの流行も予測されています。できれば流行することなく冬を乗り切ってくれればと思います。保護者や地域の皆様におかれましてもお体ご自愛いただき、お健やかなまま本校の教育活動にご支援、ご協力をいただければ幸いです。

さて、春と言えば桜をはじめ様々な花が咲き、華やかな印象があります。毎年桜の花が咲くのを心待ちにしている方も多いことと思います。しかし、桜の花は、寒い冬を越さないで花を咲かすことができないそうです。桜は、夏から秋にかけて春に花を咲かす芽をつくり、休眠状態になるそうです。これを冬芽といいます。そして、寒さにさらされることで、休眠から醒めるのだそうです。つまり、寒さにさらされないと、春になっても花を咲かすことができないのです。

またこの冬芽は、木によって様々な種類があります。先にご紹介した桜は、何枚も皮を重ね着して寒さを乗り越えます。モクレンの場合は、毛で被われています。さらにトチノキの場合は油で回りを覆い、これを不凍液として中の芽を守っています。

さて、子どもたちもあと2か月でそれぞれ進級や進学をします。しかしそのためには、一つ上の学年として我慢すること、身に付けなければいけないことなど学習しなければいけません。学習は、必ずしも楽しいことばかりではありません。時には、辛い体験を乗り越えなくてはならない場合もあると思います。しかしこれは、桜の冬芽と同じではないでしょうか。花咲く春を迎えるためにじっと耐えることで、より大きく成長するための糧とすることができると思います。

子どもたちはこれから、様々な問題に遭遇していくことと思います。ただ、冬芽の守り方も様々であったように、子どもの見守り方も様々であると思います。時には知らん顔をしながらそっと見守り、時には子どもに寄り添って共に解決の方法を考える。ただ、どんなときでも私たち大人が、子どもたちの健やかな成長を願いながら、試練を与えつつも、しっかりと守っていくことが大切であると考えます。花開く春を迎えるために、学校と家庭と地域の三者で共に手を取り合っていければと思います。よろしく願いいたします。

2月の生活目標【体をきたえて 元気になろう】

寒暖の差が大きい日々が続いていますが、浜田山小学校の子どもたちは、休み時間や体育の学習など外で元気に体を動かしています。固定遊具やなわとび、鬼ごっこやボール遊びなど、できることを考えて楽しんでます。休み時間や体育の学習の様子を見てみると、各学年短なわとび運動に挑戦するなど、それぞれが目標をもって取り組んでいます。2月の生活目標は「体をきたえて 元気になろう」です。外遊びや体育の学習を通して体力はもちろん、人とのコミュニケーション力を高めながら健やかな心身で学校生活を送れるようにしていきたいと思っています。